

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理		学科名	ヘアビューティ		授業方法	講義	
担当教員	出石 文男		学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>・ 公衆衛生・環境衛生、保健の基礎的な学びを通してその意義と目的を理解する。関連して具体的な感染症やその予防法も学ぶ。理容師・美容師等の日常業務に生かせるようスキルを深める。</p> <p>・ 授業は講義形式で行い、国家試験（筆記）の過去問題と関連づけて説明を行う。グループワークと発表会を行う。学期末には前・後期テストを実施する。</p>							
到達目標	<p>・ 健康と衛生との関連性が分かる。</p> <p>・ 「公衆衛生」「環境衛生」「保健」「感染症予防」の重要性が理解できる。</p> <p>・ 理容師、美容師等が授業を通して社会の責任ある役割を担う業務であることが理解できる。</p> <p>・ 国家試験合格を目標とする。</p>							
授業計画・内容								
第1週	1-1-1 オリエンテーション	公衆衛生	第16週	3-1-1(1)	感染症	人と感染症	感染症の歴史	
第2週	1-1-2(1)(2)	公衆衛生	第17週	3-1-1(2)(3)	感染症	感染症の法律と分類		
第3週	1-1-2(3)	公衆衛生	第18週	3-1-2(1)(2)	感染症	病原微生物	微生物の種類、形と大きさ	
第4週	1-1-3(1)(2),1-1-4	公衆衛生	第19週	3-1-2(3)(4)	感染症	微生物の構造、増殖と環境の影響		
第5週	1-2-1(1)(2)	保健	第20週	3-1-3(1)(2)	感染症の予防	病原性と感受性	汚染、感染及び発病	
第6週	1-2-1(3)	保健	第21週	3-1-3(3)(4)	感染症の予防	細菌叢	免疫と予防接種	
第7週	2-1-1(1)	環境衛生	第22週	3-1-3(5)	感染症の予防	症発生の要因	常在	
第8週	2-1-1(2)(3)	環境衛生	第23週	3-1-3(6)	感染症の予防	感染症予防の3原則		
第9週	2-1-2(1)(2)	環境衛生	第24週	3-2-1	感染症の各論	理容・美容と感染症		
第10週	2-1-3(1)(2)	環境衛生	第25週	3-2-2(1)	主な感染症	空気、飛沫を介して感染する感染症		
第11週	2-1-4(1)(2)	環境衛生	第26週	3-2-2(2)	主な感染症	飲食物を介して感染する感染症		
第12週	2-1-4(1)(2)	環境衛生	第27週	3-2-2(3)	主な感染症	血液等を介して感染する感染症		
第13週	2-1-4(1)(2)	環境衛生	第28週	3-2-2(4)	主な感染症	動物・節足動物を介して感染するする感染症		
第14週	2-1-5(1)(2)	環境衛生	第29週	3-3-1(1)(2)	具体的な対策の例	標準予防策	咳のある客	
第15週	2-1-6	環境衛生	第30週	3-3-1(3)(4)	具体的な対策の例	病変の皮膚をもつ客	嘔吐した客	
評価方法	<p>定期試験（前期・後期）を実施し、ノート、小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>* 定期試験（70%）、ノートの提出と小テスト（20%）、出席（10%）</p>							
教科書 教材など	<p>「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行</p> <p>プロジェクター（パワーポイント使用）</p>							
実務経験	薬剤師				実務経験のある教員による		授業科目	✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	保健	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	菊村 洋	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	人体の構造及び機能について学習する。自分とお客様の健康と美について理解を深める。座学を中心に教具（人体の模型等）、視聴覚教材（映像・写真）、人体図等を活用し理解を深める。単元毎に課題提出、単元試験。その他、練習問題、ワークブック（日本理容美容教育センター）、国家試験過去問題を実施する。						
到達目標	国家試験学科試験での合格を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	保健授業概要説明 自己紹介	第16週	第5章 感覚器系				
第2週	参考資料配布説明 視聴覚教材による人体学習	第17週	第5章 感覚器系				
第3週	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	第18週	第5章 まとめ 練習問題				
第4週	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	第19週	第6章 血液と免疫系				
第5週	第1章 まとめ 練習問題	第20週	第6章 血液と免疫系				
第6週	第2章 骨格系	第21週	第6章 まとめ 練習問題				
第7週	第2章 骨格系	第22週	第7章 循環器系				
第8週	第2章 まとめ 練習問題	第23週	第7章 循環器系				
第9週	第3章 筋系	第24週	第7章 まとめ 第8章 呼吸器系				
第10週	第3章 筋系	第25週	第8章 呼吸器系 まとめ				
第11週	第3章 まとめ 練習問題	第26週	第7章 第8章 練習問題 第9章 消化器系				
第12週	第4章 神経系	第27週	第9章 消化器系				
第13週	第4章 神経系	第28週	第9章 消化器系				
第14週	第4章 まとめ 練習問題	第29週	第9章 まとめ 練習問題				
第15週	前期試験対策	第30週	後期試験対策				
評価方法	平生点30点（単元課題、単元試験等）＋定期試験70点＝100点 前期100＋後期100＝200÷2＝						
教科書 教材など	日本理容美容教育センター						
実務経験	美容学校教員（保健・文化）			実務経験のある教員による 授業科目			

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	化粧品化学		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名 由記		学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>・化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が化粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。</p> <p>・授業は講義形式で单元ごとに確認テストを行い、理解度を確認しながら進めていく授業である。</p>							
到達目標	美容師として必要な薬品の知識を学ぶことにより、お客様に提供する際の説明ができることや国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。							
授業計画・内容								
第1週	1章 化粧品概論 1節 香化粧品の社会的意義と品質特性 2節 化粧品の規制			第16週	6節 色材 1色材と化粧品 2無機顔料			
第2週	3節 化粧品の安定性と取扱上の注意 4節 化粧品と安全性			第17週	3 有機合成色素 4 光輝性顔料			
第3週	2章 化粧品原料 1節 香化粧品の対象となる人体各部の性状			第18週	5 天然色素			
第4週	2 皮膚と水 3 頭皮や毛髪健康な状態			第19週	7節 香料			
第5週	4 爪の性状 5 まぶたや口唇や性状			第20週	8節 その他の配合成分 1化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分			
第6週	2節 水性原料 1水 2エタノール			第21週	2 化粧品配合成分があたえる機能			
第7週	3節油性原料 1油脂 2ロウ類 3炭化水素			第22週	3 その他特殊成分			
第8週	4 その他油性原料 5 油性原料の機能			第23週	5節 高分子化合物			
第9週	4節 界面活性剤 1界面活性剤の基本的性質 2界面活性剤の種類			第24週	9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 1合成樹脂			
第10週	3界面活性剤の化粧品への応用			第25週	2 接着剤 3塗料			
第11週	5節 高分子化合物 1 高分子化合物と特性			第26週	3章 基礎化粧品 1節 皮膚清浄用化粧品 2節化粧水			
第12週	2 高分子化合物の化粧品への応用			第27週	3節 クリーム・乳液 4 その他の基礎化粧品			
第13週	復習			第28週	復習			
第14週	復習			第29週	復習			
第15週	復習			第30週	復習			
評価方法	<p>定期試験を実施し、毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：定期試験（34％） 小テストやレポート（33％） 授業態度や出席（33％）</p>							
教科書 教材など	<p>出版社：日本理容美容教育センター 書名：化粧品化学 ・講師作成プリント</p>							
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリープ21 3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	文化論	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法		講義	
担当教員	神崎 順治	学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須		
授業概要	◇古代から現代までのファッション文化を学び、理容・美容業の成り立ちやお客様とのコンセンサスを得るための基礎として、理容・美容文化を学ぶ。								
授業内容	◇授業はテキストを基に、歴史の流れや、日本と西洋の文化の違いや関連を感じ易くするために、日本と西洋の同時代を、講義形式やグループワークで交互に進める。								
到達目標	◇理容・美容の歴史に加え、2年次のヘアデザイン画の為の基礎練習として鉛筆デッサンや色鉛筆を使用して、彩色などの実技を履修する。								
到達目標	◇本科目のねらいは、時代の流れとそこに生活する人々に育まれたヘアファッションの文化を学びこれからの時代やお客様の求めている「美しさ」を理解するための基礎を身につける。								
到達目標	◇美容師国家試験（筆記試験）に向け、理容・美容の歴史を学び、2年次に学力が定着できるように歴史の流れを理解する。								
到達目標	◇デザイン画を通して、自分の思い描いたイメージを形にし、お客様に伝えられるようにする。								
授業計画・内容									
第1週	オリエンテーション 総論と概要			第16週	【ファッション文化日本】近代① 【デザイン画】陰影の練習				
第2週	【日本の理・美容の歴史】発生～江戸時代 【デザイン画】道具の使い方			第17週	【ファッション文化日本】近代② 【デザイン画】陰影の練習				
第3週	【日本の理・美の歴史】近代～現代 【デザイン画】グラデーションをつくる			第18週	【ファッション文化日本】近代③ 【デザイン画】陰影の練習				
第4週	【ファッション文化史 日本】縄文・弥生・古墳時代 【デザイン画】顔の比率、パーツ練習（目▶眉）			第19週	【ファッション文化史】年表づくり				
第5週	【ファッション文化史 日本】古代（飛鳥・奈良・平安）			第20週	【ファッション文化史 西】近代Ⅰ 【デザイン画】色鉛筆の使い方				
第6週	【ファッション文化史 日本】古代（飛鳥・奈良・平安）			第21週	【ファッション文化史 西】近代Ⅱ 【デザイン画】色鉛筆の使い方				
第7週	【ファッション文化史 日本】古代（飛鳥・奈良・平安）			第22週	【ファッション文化史 日本】現代Ⅰ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第8週	【ファッション文化史西洋】古代（エジプト・ギリシャ・ローマ） 【デザイン画】陰影の練習			第23週	【ファッション文化史 日本】現代Ⅱ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第9週	【ファッション文化史 日本】中世 【デザイン画】頭髪の練習			第24週	【ファッション文化史 日本】現代Ⅲ・Ⅳ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第10週	【ファッション文化史 西洋】中世ヨーロッパ 【デザイン画】頭髪の質感の練習			第25週	【ファッション文化史 西洋】現代Ⅰ・Ⅱ 【デザイン画】色を使ったヘアデザイン				
第11週	【ファッション文化史】前期・中期の復習とまとめ 【デザイン画】横顔の練習			第26週	【ファッション文化史 西洋】現代Ⅲ・Ⅳ 【デザイン画】全身を描く				
第12週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅰ（江戸） 【デザイン画】いろいろな頭髪の練習			第27週	【ファッション文化史 西洋】現代Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ 【デザイン画】全身を描く				
第13週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅱ（江戸） 【デザイン画】模写（男性の横顔）			第28週	【ファッション文化史】後期まとめ				
第14週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅱ（江戸） 【デザイン画】模写（男性の横顔）			第29週	【礼装の種類】和装 【デザイン画】テーマに合わせたヘアデザイン				
第15週	【ファッション文化史 日本】近世Ⅱ（江戸） 【デザイン画】模写（男性の横顔）			第30週	【礼装の種類】洋装 【デザイン画】テーマに合わせたヘアデザイン				
評価方法	◇定期試験（前期・後期）を実施し、提出物（授業でのプリント・実技）、授業態度や出席状況を考慮して、成績を評価する。 《評価の目安》定期試験（70%）・提出物（20%）・授業態度及び出席（10%）								
教科書教材など	◇出版社：公益財団法人 日本理容美容教育センター 書名：文化論								
実務経験	中学校教諭一級免許(美術)				実務経験のある教員による 授業科目				

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法		講義	
担当教員	井上祐樹/白神健一/守谷志妃	学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須		
授業概要 ・ 授業内容	<p>・美容技術はそれぞれ技術の裏付けとなる根拠があり、その理論や薬剤の取扱い等の説明をし理解させると同時に、技術の方法や注意点なども合わせ習得をしやすいように理解させる。</p> <p>・授業は講義形式でプロジェクターを使用し写真や図、実物などを手に取り、利用しながら授業展開をする。また提出物や小テストにより理解度を確認し、クラス全体の知識を高める。</p>								
到達目標	<p>・1年次は美容実習及び国家試験実技を習得する上で必要とされている理論を教えにすることを一つの目標としている。また、美容師国家試験筆記課題でもあるため十分な理論の知識を深めことで、美容技術理論の必要性を理解されることを目標にする。</p>								
授業計画・内容									
第1週	序章：技術と理論。(作業姿勢。人体・頭部の名称) *なぜ理論が必要であるのか。	第16週	6章 ヘアカーリング2 ピンカール各部の名称・分類 *カールの方向や、ベースについて						
第2週	1章 美容用具1 (道具、器具、機械の違いについて) *美容師の道具・用具を理解させる。	第17週	6章 ヘアカーリング3 *ステムの方向、ループ・ピニング等						
第3週	1章 美容用具2 (コーム・ブラシ・シザーズ・レザー等)	第18週	6章 ピンカールの作り方・ウエーブ * スカルプ・クロキノールカール・フィンガーウエーブ						
第4週	2章 シャンプーイング1 *目的と成分。目的別シャンプー・界面活性剤と、シャンプー剤の種類。	第19週	6章 ローラーカール *ローラーカールの効果と、巻き方、角度、						
第5週	2章 シャンプーイング2 *シャンプーの注意点と不安やマッサージ効果について	第20週	6章 プロードライ ハンドドライヤー *その使い方と道具について						
第6週	2章 シャンプーイング3 技術プロセス *ブラッシングから、バック・サイドシャンプーの違い	第21週	6章 アイロンセット・その他 *持ち方、カールの出し方・ウィックトヘアピースについて等						
第7週	2章 リンス・コンディショナー1 *役割と成分カチオン界面活性剤とは等	第22週	7章 カラーリング 種類とタイプ *染毛剤、染毛料の違いなど						
第8週	2章 リンス・コンディショナー2 *リンス・コンディショナー・トリートメントの違い	第23週	7章 カラーリング 染毛のメカニズム *酸化染毛剤の作用						
第9週	2章 3 スカルプトリートメン *その目的・成分・手順等、ヘッドスパについて	第24週	7章 色の基本 *色の原理、レベルとアンダートーン 明度彩度等						
第10週	5章 パーマネントウエーブの歴史と理論 *ウエーブ形成の仕組みパーマ剤のはたらき	第25週	7章 パッチテスト 染毛剤と皮膚炎 *パッチテストの実際と方法						
第11週	5章 パーマネントウエーブ 薬剤の分類 *各パーマ剤のタイプ、2浴式・加温式縮毛矯正等	第26週	7章 カラーリングの実際 *ブロッキング、塗布・ブリーチ技術						
第12週	5章 パーマ3 パーマ剤に関する注意事項 * 施術に適さないケースや、トラブル等	第27週	3章 ヘアデザイン 美容とデザイン *ヘアデザインにおける錯覚の利用						
第13週	5章 技術の実際 * ロッドの選定法や、テストカール手順など	第28週	3章 錯覚の種類と説明 *幾何学錯視・ツェルナー錯視等						
第14週	6章 ヘアセッティング ヘアセットとは *基礎的要素、パート・シェープ・コームの持ち方	第29週	3章 デザインの要素 *点と線・面の効果						
第15週	6章 ヘアカーリング *ピンカール各部の名称・分類	第30週	3章 デザインの効果 *方向・比率・バランス等の応用						
評価方法	<p>・定期試験を実施し、授業内で小テスト・授業時にまとめたノートの提出、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価の目安：定期試験（70％）・小テスト（10％）・提出物（10％）・授業態度と出席（10％）</p>								
教科書 教材など	<p>日本理容美容教育センター出版「美容技術理論1」。公益法人理容師美容師試験研修センター発行(美容師実技試験課題「実技の解説及び理・美容衛生読本」。視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）</p>								
実務経験	井上祐樹（美容師歴：6年）・白神健一（美容師歴6年） 守谷志妃（美容師歴：3年）・松井隆（美容師歴15年）					実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容実習	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法		実技	
担当教員	井上祐樹/白神健一/守谷志妃	学年・学期	1年・通年	時間数	480時間	必須・選択	必須		
授業概要	・美容技術を行う上で必要な基本姿勢や用具類の取り扱いを理解させ、国家試験課題の技術条件に沿って練習を行う。また、「シャンプー」や「カラーリング」など、実践的な技術も習得する。								
授業内容	・授業は主に実技演習で、授業により講義で各技術ごとに教科書、パワーポイントを使用して説明をする。実技では、デモンストレーションをすることで実際の動きを理解させる。美容師国家試験課題で課題作成時間が決まっているものは、実技の小テストや定期テストを実施し、目標を達成できるようにさせる。								
到達目標	・国家試験課題である「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の技術の条件を理解し、決められた課題作成時間内に行えるようにする。また、実技試験における衛生上の取り扱いについても理解することで美容師国家試験（実技）の合格を目指す。 ・サロンワークに必要な基本的なテクニックや知識を「カット」「セットアップ」「カラーリング」「シャンプー」などの実習を通じて身に付ける。								
授業計画・内容									
第1週	・美容用具の理解と基本姿勢の習得。 ・ワインディング（ブロッキング正確に取る）			第16週	・ワインディング（タイムアップを目指す。） ・サイドシャンプー（トリートメント・ヘッドスパ）				
第2週	・ワインディング（上巻き・下巻き） ＊巻く角度を理解させる。			第17週	・オールウェーブセッティング ＊ピンカールとウェーブのバランスを理解させる。				
第3週	・ワインディング（センターの配列を理解させる） ＊ブロッキングのタイムアップ。			第18週	・カット＆ブロー（グラデーション） ・ワインディング（タイムアップを目指す。）				
第4週	・シャンプー（週2時間実施） ・ワイディング（センターを綺麗に巻く）			第19週	・オールウェーブ（スカルプチュアカール） ・シャンプー＆トリートメント（相モデル）				
第5週	・サイドシャンプー（相モデル） ・ワイディング（全頭・構成を理解させる）			第20週	・カット＆ブロー（レイヤー・セიმレングス） ・ヘアカラー（ブリーチ・塗布の仕方）				
第6週	・ワインディング（全頭のタイムアップ） ・シャンプー＆トリートメント（週2時間実施）			第21週	・ヘアカラー（ダブルカラー） ・オールウェーブ（リフト・メイポール・クロッキ）				
第7週	・セットアップ（アイロン使用） ＊編み込みアレンジヘア			第22週	・オールウェーブ（7構成を理解させる） ・ワインディング（タイムアップを目指す。）				
第8週	・シザーの開閉（美容理論1参考） ・カット＆ブロー（ワンレングス）			第23週	・カット＆ブロー（ディスコネクション） ＊スタイルのバランス感を養う（錯覚現象）				
第9週	・まつ毛エクステンション（顔部の名称をウィッグで覚える）＊まつ毛エクステンションの教科書参照			第24週	・オールウェーブ（復習） ・ワインディングのテスト（フォローアップ授業）				
第10週	・セットアップ（アイロン使用） ＊アイロンの使い方。（カールの出し方。）			第25週	・校外実習（ロールプレーン練習） ＊実践を想定した動線とお客様対応				
第11週	・第5章まつ毛エクステンション技術 ＊ウィッグを使用。復習			第26週	・オールウェーブ（復習と見極め） ・ワインディング（見極め）				
第12週	・セット・カット＆ブロー（仕上げ） ＊錯覚現象を理解させる。			第27週	・ヘアカラー（ウイーピング・スライシング） ・オールウェーブ（タイムアップを目指す。）				
第13週	・ワインディング（タイム30分） ＊見極め（放課後フォローアップ）			第28週	・ワインディング（後期試験） ・オールウェーブ（後期試験）				
第14週	・カット（レザーの使い方） ＊カット技法を覚える。			第29週	・カット＆ブロー・カラーリング ＊作品作り				
第15週	・ワインディング（30分）＊前期試験 オールウェーブ（フィンガーウェーブの作り方）			第30週	・ワインディング（規定のタイムを目指す。） ・オールウェーブ ＊2年次に向けての調整。				
評価方法	・授業内で定期試験を実施し、授業内では実技及び衛生チェックの小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（80%）・実技及び衛生チェックの小テスト（10%）・授業態度や出席（10%）								
教科書 教材など	・「美容師実技試験課題（技術の解説）」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・プロジェクター（パワーポイント使用）								
実務経験	井上 祐樹（美容師歴：6年）・白神健一（美容師歴：6年） 守谷 志妃（美容師歴：3年）・松井隆（美容師歴15年）				実務経験のある教員による 授業科目			✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ビジネスマナー		学科名	ヘアビューティ学科		授業方法	講義	
担当教員	宮原香由里		学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要	<p>ビジネスマナーは、講義、ロールプレイ演習および授業プリントのファイリング等により、社会人の基本動作と心構えを身に付ける授業です。前期は社会人(サービススタッフ)としての心構え、基本動作および敬語と接遇表現を学びます。後期は実務技能や就職活動に必要なマナーについて学ぶ予定です。</p> <p>授業で直接検定対策はしませんが、サービス接遇検定3級レベルの知識習得はできますので、検定受験希望者には別課題により対策します。(検定は任意受検)</p> <p>授業計画は、知識や実務技能の習得状況により内容を変更する場合があります。</p>							
授業内容								
到達目標	<p>①返事、挨拶、お辞儀、敬語を徹底して習得し、日常的に使える接遇の基本言動を身に付ける。</p> <p>②ノートを取り、自分のマニュアル作成ができるようにする。</p> <p>③授業プリントをファイリングすることで、日常的に書類管理できるスキルを身に付ける。</p> <p>④課題等の提出物の期日を守るための時間管理能力を身に付ける。</p> <p>⑤授業時に身だしなみを整えることを意識することで、社会人の仕事への姿勢に対する感覚を持つようにする。</p>							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション (ファイリング、課題提出や評価方法について)		第16週	前期総復習・ファイリング				
第2週	社会人を目指す学生として		第17週	電話対応の基本マナー				
第3週	第一印象の重要性		第18週	電話話法				
第4週	基本行動（挨拶、お辞儀、笑顔、態度）		第19週	ビジネス電話対応の流れ				
第5週	サービス接遇とは		第20週	電話の掛け方				
第6週	サービススタッフの資質		第21週	インターンシップの依頼				
第7週	敬語の必要性（敬語とは）		第22週	電話の受け方				
第8週	尊敬語と謙譲語		第23週	お店の問い合わせ・予約の受け方				
第9週	丁寧語・丁寧語・美化語		第24週	伝言メモ				
第10週	敬語の使い分け・敬称の使い方		第25週	ビジネス文書の形式				
第11週	接遇用語		第26週	お礼状の書き方				
第12週	接遇表現		第27週	お礼状の作成				
第13週	クッション用語と依頼の表現		第28週	ファックスの送信書				
第14週	接遇表現の総合演習1		第29週	各種帳票				
第15週	接遇表現の総合演習2		第30週	総まとめ				
評価方法	<p>半期ごとに以下①～③の観点より、総合評価により単位認定します。最終評価は前期と後期の平均点で計算します。出席と授業態度や課題提出状況を評価の大部分とするため、原則として成績不良者に対する再試験は実施しません。詳しくはオリエンテーション時に説明します。</p> <p>①授業点…課題への取り組み、提出状況、授業態度や身だしなみ等を減点法により採点します。 最終締め切りまでに課題がすべて提出できない場合は大きく減点されます。</p> <p>②出席点…この教科の補講等も含む出席率を点数とします。半期につき出席率が80%必要です。</p>							
教科書 教材など	講師作成のテキスト兼ノートを使用。授業で配布するプリントをファイリングすることでテキストとして完成します。							
実務経験	ビジネスマナー・インストラクターとしての実務経験（25年） 国家資格キャリアコンサルタント（3年）				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアカラーコーディネート	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	安井けい子	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>主に色彩検定3級程度の理論を学び、理論を習得する実践的な実習（個人・グループワーク）を行い、五感や感性を磨き、表現力を高める授業である。</p> <p>色彩理論の基礎を学び、理解を深めるための実習を通じて色彩感覚を身に付け、専門分野に活用できるよう、個人に加えグループワークを行う。</p>						
到達目標	<p>社会人として、また主に接客業に従事する立場として、基本的なあいさつ、人間関係構築力やコミュニケーション力を高める。</p> <p>色彩理論を表現する実習を通じて、五感や感性を高め、自己表現力を磨く、自己理解や他者理解を深めることを目標としている。</p>						
授業計画・内容							
第1週	身の回りにある色彩について「黄色について」	第16週	配色理論①（色相配色）とカード実習				
第2週	色彩理論 「色の分類と三属性」	第17週	配色理論②（トーン配色）とカード実習				
第3週	前回復習・小テスト・配色理論と実習	第18週	前回復習と小テスト・グループワーク①				
第4週	色彩理論 「有彩色の分類」と実習	第19週	グループワーク②と発表、配色理論③				
第5週	色彩理論 「光と色、色はどうして見えるのか」	第20週	色彩とファッション、ファッション配色実習				
第6週	色彩実習 「配色とスクラッチアート実習」	第21週	色彩とインテリア、小テスト、インテリア実習				
第7週	色彩理論 「色と照明」	第22週	サロンのインテリア画作成実習と発表				
第8週	総復習と小テスト・季節感と色の実習	第23週	ファッションとインテリア復習と小テスト				
第9週	色彩理論 「PCCS色相環とは」、カード実習	第24週	色と嗅覚 「アロマセラピー理論と実習」				
第10週	色彩理論 「PCCSトーンとは」、カード実習	第25週	色彩理論 「混色理論と実習」				
第11週	PCCS総復習と小テスト	第26週	混色復習と小テスト、絵の具混色実習				
第12週	配色理論とイメージ、カード自習	第27週	季節感と色彩 「クリスマスカード作成」				
第13週	配色イメージと季節感、うちわ作成実習	第28週	色彩心理についてグループワークと発表				
第14週	前期試験対策①、配色カード実習	第29週	後期試験対策①、配色実習				
第15週	前期試験対策②	第30週	後期試験対策②				
評価方法	試験60%、出席率・授業態度20%、提出物20%						
教科書 教材など	色彩検定3級テキスト、カラーカード						
実務経験	カラスクール主宰、色彩・パーソナルカラー講師24年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容総合研究	学科名	ヘアビューティ学科		授業方法	演習
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択 必須選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>・毛髪の基礎知識を学ぶことで毛髪診断の必要性を理解させ、髪質に合ったヘアケア剤、薬剤の選定方法に役立てる。</p> <p>・授業方法は講義形式を中心に授業によっては実験を交えて毛髪の理解を高めるために毛髪診断を行い、頭皮の観察、毛髪の診断を行う。</p>					
到達目標	美容師に必要な毛髪を取り扱っていく上での知識を習得し、就職してからお客様の頭皮から毛髪についての相談に乗れるよう実践に役立てる。					
授業計画・内容						
第1週	物質の構成	第16週	ブリーチと毛髪損傷			
第2週	溶解とコロイド	第17週	ヘアダイと毛髪損傷			
第3週	飽和溶液と不飽和溶液	第18週	ヘアダイが染まって褪色しにくいわけ			
第4週	イオンと水素イオン指数	第19週	アルカリ分をほとんど含まないヘアダイ			
第5週	酸と塩基の定義と強弱	第20週	ヘアダイかぶれはアレルギー			
第6週	物質の変化と化学反応	第21週	ヘアマニキュアは酸性染料			
第7週	酸化・還元反応	第22週	その他染毛料のいろいろ			
第8週	タンパク質	第23週	毛髪とパーマ			
第9週	ケラチン	第24週	パーマの原理			
第10週	毛髪基礎知識①	第25週	パーマ1剤は還元剤、2剤は酸化剤			
第11週	ヘアサイクルとは？	第26週	パーマと毛髪損傷			
第12週	ケラチンは丈夫なタンパク質	第27週	ロッドとウェーブ			
第13週	毛髪はやや酸性が傷みにくい	第28週	パーマ2剤では中和しない			
第14週	毛髪とヘアカラー	第29週	毛髪診断 実習			
第15週	ブリーチの仕組み	第30週	毛髪診断 実習			
評価方法	定期試験は実施せずに、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 評価目安：小テストやレポート（50%）・授業態度や出席（50%）					
教科書 教材など	出版社：株式会社ビービーコム 書名：毛髪科学を知る及び毛髪のひみつ 出版社：公益社団法人日本理容美容教育センター 書名：化粧品化学					
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目	
						✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	一般教養（一般常識）	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名由記	学年・学期	1年・通年	時間数	45時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	[一般常識]: : 高校までに学習した漢字の読み書き、計算、時事問題など社会に出てから必要となる基礎知識を復習する。授業方法として学生の基礎知識の差があるため基本的な項目を復習しながら教えて行く。						
到達目標	[一般常識]: : 高校までに学習した漢字の読み書き、計算、時事問題など社会に出てから必要となる基礎知識を復習する。授業方法として学生の基礎知識の差があるため基本的な項目を復習しながら教えて行く。						
授業計画・内容							
第1週	日常漢字を中心に教え復習させる。	第16週	社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。				
第2週	漢字の読み書きの復習	第17週	社会常識またはその時にタイムリーに起っている時事問題を確認し学習する。				
第3週	漢字の読み書きの復習	第18週	計算の基礎（小数点・分数）の復習から加減乗除の計算方法を教える。				
第4週	慣用句の学習	第19週	計算の基礎（小数点・分数）の復習から加減乗除の計算方法を教える。				
第5週	慣用句の復習	第20週	計算の基礎（小数点・分数）の復習から加減乗除の計算方法を教える。				
第6週	慣用句の復習	第21週	割合・百分率の計算の仕方を学ぶ				
第7週	文章能力を高める「読む力」	第22週	割合・百分率の計算の復習				
第8週	文章能力を高める「読む力」	第23週	(1) 割合・百分率の計算の復習				
第9週	文章能力を高める（解読力）	第24週	(1) 百分率を使って濃度計算の練習				
第10週	文章能力（解読力）	第25週	(1) 百分率を使って濃度計算の練習				
第11週	基本的な計算問題を教える	第26週	(1) 慣用句の復習により事務処理やお客様の予約時に必要なところを学習する				
第12週	基本的な計算問題を教える	第27週	(1) 慣用句の復習により事務処理やお客様の予約時に必要なところを学習する				
第13週	小数点・分数の計算	第28週	(1) 前期でやった範囲を総合的に確認しプリンにまとめ授業展開を行う				
第14週	小数点・分数の計算	第29週	(1) 前期でやった範囲を総合的に確認しプリントにまとめ授業展開を行う				
第15週	今までのまとめ	第30週	(1) 前期・後期授業のまとめと復習				
評価方法	[一般常識]: 定期試験を実施し、課題内容を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 授業点 (33%) 小テスト (33%) 定期試験 (34%)						
教科書 教材など	(1) 講師作成プリント(一部引用 出版: 廣済堂あかつき 本名: 実践就職問題集)、朝日新聞、読売新聞						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	一般教養（手話）	学科名				授業方法	講義
担当教員	網浜葉子／中塚志保	学年・学期	1年・前期	時間数	15時間	必須・選択	
授業概要 ・ 授業内容	基本的な手話表現を習得し、日常生活や美容室などで簡単なコミュニケーションが図れるように学ぶ。授業方法は演習を交えて、生徒が、復習や反復練習で技術を身につけられるようまた、主体的に取り組めるように学習を進める。						
到達目標	聴覚障害や手話について理解を深め、日常生活や美容室などで聴覚障害者に対してスムーズな対応ができることが目標である。						
授業計画・内容							
第1週	手話の基礎知識（手話とは・ろう者と手話）						
第2週	自己紹介をしてみよう（あいさつと名前）						
第3週	ろう者とのコミュニケーション方法 & 聞こえないとは						
第4週	指文字&数字（2ケタ）&時制						
第5週	家族（疑問詞のだれ？、何人？の使い方）						
第6週	趣味（疑問詞の何？好き？嫌い？得意の使い方）						
第7週	料理&買い物（疑問詞のいくら？いくつ？の使い方）						
第8週	病院&手話通訳（どうしたの？の使い方）						
第9週	交通&地名（疑問詞のどこ？行き方の使い方）						
第10週	学校&仕事						
第11週	天気・自然						
第12週	美容に関する単語&ろう客との接客方法						
第13週	ろう者の生活&自己紹介（名前、家族、誕生日、趣味、歳、夢など）						
第14週	試験（対面）						
第15週	まとめ						
評価方法	試験、出席状況、授業態度を考慮して評価する						
教科書 教材など	「DVDで楽しく学べる はじめて出会う手話」のテキストとパワーポイントを利用する						
実務経験	岡山市手話学校での手話講師歴20年以上				実務経験のある教員による		授業科目

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅠ	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	守谷 志妃	学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>・美容師として仕事の幅を広げるために必要なメイク技術の理解を深めることで、ヘア&メイクのトータル的なデザインに繋げることができる基礎知識を学ぶ授業である。</p> <p>・授業方法は主に実技形式で、実践的な相モデルで授業を実施し、また講義では基本的な道具の使用法や持ち方などを徹底的に指導すると共に、メイクに必要な色のもつバリエーションを理解させる。</p>						
到達目標	<p>・一般社団法人 JMA シュウ ウエムラ メイクアップ技術検定取得に向け実践的に役立つ授業を行うことで美容師として、お客様にメイクのアドバイスをできるように指導する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	化粧品のご定義 化粧品のご位置づけ、使用する化粧品のご目的及び特徴	第16週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト（20分）15人				
第2週	メイクアップ理論 ベーシックテクニックの重要性、プロフェッショナルにとってのメイクアップの必要性	第17週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト（20分）15人				
第3週	道具の準備 ハードフォーミュラ（アイブローペンシル）を削る	第18週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成				
第4週	セルフメイクアップ、メイクアップ化粧品の使用方法を確認させ。	第19週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成				
第5週	スタンスチェック メイクモデルの扱い方などを、相モデルで確認	第20週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成				
第6週	ベースメイクアップ（ アンダーベース・ファンデーション・フェイスパウダー）展示および実習 ファン	第21週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート（ブルーベース、）イエローベースに				
第7週	ベースメイクアップの復習 スタンスやモデルの扱い方再確認理解	第22週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート（ブルーベース、）イエローベースに				
第8週	ベースメイクアップ復習（相モデルで実習） 手順、テクニックのポイントなどを再確認、理解させる。	第23週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1（デザイン画に基づいたブルーベースの実習）				
第9週	ベースメイクアップ復習 リップメイクアップ展示及び実習 道具の扱い方、ブラシワーク、手順、テクニック	第24週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1（デザイン画に基づいたブルーベースの実習）前回				
第10週	ベースメイクアップ、リップメイクアップ復習 アイメイクアップ（アイシャドウ）展示及び実習 プレスド	第25週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2（デザイン画に基づいたイエローベースの実習）				
第11週	ベースメイクアップ、アイメイクアップの復習、アイメイクアップ展示、 アイブローメイクアップ展示及び実習	第26週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2（デザイン画に基づいたイエローベースの実習）前				
第12週	ベースメイクアップ、アイメイクアップ、リップメイクアップ、アイメイクアップ、アイブローメイクアップ復	第27週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネートの実習）				
第13週	ベーシックメイクアップ復習（ベースメイクアップ～チークメイクアップを重視し、完成度の高いメイクアップ	第28週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネートの実習）				
第14週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、	第29週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネートの実習）				
第15週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、	第30週	各自カラーカウンセリングに基づいたナチュラルメイクの発表・感想				
評価方法	<p>・定期試験の実技は授業中に、学科は授業外で実施し、授業態度や出席状況及びノート提出を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：毎時間の授業態度や出席及びノート提出（10%）・授業中の技術チェック(40%)・定期試験(50%)</p>						
教科書 教材など	一般社団法人 JMA（日本メイクアップ技術検定協会）MEKEUP TECHNIQUE CERTIFICATION EXAMINATION						
実務経験	美容師歴3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅡ	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	清水江里奈	学年・学期	1年・前期	時間数	2時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	実際にサロンワークで使用する用具を使う事でトラブルやアレルギーに関する知識・用具の取り扱い注意点、またまつ毛の構造等を学ぶ。授業ではウィッグでの実技を中心にしながら講義、グループワークを行うことで関心を高める。基本装着から基本のデザインまでのテクニックを身に付ける授業である。						
到達目標	目や目元の繊細な施術である事を十分に理解し、安心安全を配慮した施術を身に付ける。またアイリストは、美容師免許が必要な職業なので、基本的な知識と技術を身に付ける事や資格を生かした仕事への意識を高める事を目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション・まつ毛エクステンションとは？・トラブルの紹介・人工毛に触れる						
第2週	まつ毛の一般理論・地まつ毛診断（グループワーク）						
第3週	カウンセリング・人工毛装着後の取り扱い（アフターケア方法）						
第4週	道具の取り扱い①（ツイザー）・ツイザーの持ち方・人工毛の掴み方・かき分け方						
第5週	道具の取り扱い②（グルー・グループレート）グルーの取り方						
第6週	道具の取り扱い③（人工毛、テープ）テープワークの仕方・Jカールエクステ装着						
第7週	道具の取り扱い④（クレンジング剤）プレケアの仕方・Cカールエクステ装着						
第8週	道具の取り扱い⑤（リムーバー）エクステ装着・リムーブの仕方（ジェル、クリーム）						
第9週	接触皮膚炎について・エクステ装着一連の工程復習						
第10週	デザイン作成①（キューティーライン）						
第11週	デザイン作成②（セクシーライン）						
第12週	デザイン作成復習（長さ選定）						
第13週	目元のマッサージ（工程、ツボの位置・効果）						
第14週	デザイン作成復習						
第15週	まとめ・実技試験						
評価方法	定期試験を行い、実技は授業内で行う。筆記試験、授業時に使用するプリント提出、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技テスト・筆記試験（60%）、プリント提出（30%）、授業態度・出席（10%）						
教科書 教材など	出版社：日本理美容教育センター 書名：まつ毛エクステンション						
実務経験	アイリスト歴9年/ëyë Rina自サロン、（株）アイラッシュガレージ 認定講師				実務経験のある教員による 授業科目		✓